

港区立港陽中学校
令和5年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	◆社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、活用する力 ◆物事を論理的に考え、自分の考えを表現する力	◆漢字や文法などの知識の定着に課題がある。 ◆課題に正対し、適切に文章を書く力に課題がある。	◆漢字テストを毎週実施し、事前の学習・再テスト・補修等の取り組みを通して、基本的な漢字の読み書きの定着を図る。 ◆文法の演習を多く設定し、より確かな定着を図る。 ◆適切にタブレットを活用することで、文章を書くことに対する抵抗感を減らす。 ◆50～200字の小作文をさまざまな授業の言語活動として取り入れ、書く練習を積み重ねる。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	◆社会的事象に関する知識と理解を深め、技能の習得を図ろうとする力 ◆複数の資料を基にして多面的・多角的に考察・判断・表現する力 ◆よりよい社会の実現を視野に、諸課題を主体的に追究、解決しようとする態度	◆各分野では学習内容の確かな理解と定着が課題である。様々な資料を的確に読み取れるようになることが課題である。 ◆資料の意味を考察・判断し、自分の言葉で表現することが課題である。 ◆社会的事象を自分の課題としてとらえさせることが課題である。	◆ワークシートの工夫やタブレットの活用により、毎時間の授業について興味・関心を高める。単元ごとに確認テストを実施し、個別指導の徹底を図る。 ◆資料の読み取り学習を通して、自分の考えを発表、記述するなどの言語活動を取り入れた授業を実施する。 ◆各単元で、私たちと社会とのつながりについて理解し、課題意識をもって取り組めるように年間カリキュラムを設定する。

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学力状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
数学	◆数量や図形の基礎的な概念や原理を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に着けようとする力 ◆数学を活用して事象を論理的に考察し、明確、的確に表現する力 ◆数学的活動の楽しさよさを実感して考え、生活や学習に生かそうとする態度	◆関数の分野で全国平均、東京都平均正答率を上回っているが、数と式の分野において全国平均程度、データの活用については全国平均を下回る結果となった。 ◆関数の分野において、式とグラフについての知識については良好な結果となっているので、図やグラフから読みとる(考察)ことについて理解を広げていくことが課題である。 ◆また、図形分野においては、小学校で学ぶ図形の用語と図形の性質を利用して解答を導くことが苦手とする結果となった。	◆図形の分野では、小学校で既習事項となっている図形の基本用語と基本性質の復習と理解を深めて、中学校の図形の証明に利用と活用ができるように知識の反復・復習をし、得た知識を利用して(証明課題などの)課題解決に結び付けていく授業展開をおこなっていく。 ◆統計分野のデータの活用においては、データ活用に関する用語の復習を踏まえ、データのグラフ化や図式化において、それらの結果から考察できることについて考察する授業を展開し、データの活用についての理解を深めていく学習を進めていく。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	◆主体的に自然事象と関わり、それらを科学的に探究しようとする態度 ◆観察・実験の結果を分析・解釈し、そこから関係性(共通点や相違点など)や傾向を見出す力。 ◆学習した内容をもとに、新たな知識を再構築、獲得する力	◆定期考査の結果から、基本的な知識についてはおおむね定着している。 ◆実験の結果をもとに考察を行うことや、理科学的な現象からその理由を表現する問題の正答率は低い。 ◆実験からわかることをまとめたり、生活の中で起こる現象について知識を活用して考えたりする力に課題がある。	◆知識獲得的な学習は自宅で取り組むように毎時間宿題を課し、生徒の主体性をはぐくむ。また、日常生活との関連を考える活動を通して、学習意欲を高める。 ◆意見を発表することや聞くことを通して、自らの意見を深め、生徒自ら観察や実験の結果をまとめることができるようにしていく。 ◆既得知識や通常の生活の中で起こる事象を課題として取り上げ、既習事項を活用して説明したり課題を解決したりする学習を取り入れていく。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	◆表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる力を育む。	◆定期考査の結果から、基本的な知識についてはおおむね定着していると思われる。 ◆人前でパフォーマンスをするのが課題である。自分が学んだこと、身に着けたことを表現するのが苦手である。	◆復習用プリント、定期考査対策プリント等を活用して、基本的な知識を定着させる。 ◆人前で演奏する機会を増やすようにする。授業内での小発表をはじめ学習成果発表会や音楽交歓会などでも発表できるようにする。そうすることによって少しずつパフォーマンス能力が向上する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	◆表現方法を創意工夫し、創造的に表す力 ◆造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練る力	◆定期考査の結果から、基本的な知識についてはおおむね定着していると思われる。 ◆発想を問う問題については、苦手意識を持っている生徒も多く課題がある。	◆作品作りや鑑賞において、さまざまなつながりがあってできあがることを説明していく。美術に対する興味をさらに広げる。 ◆作品作りの取組について、より丁寧に説明し、細かく個別指導を実施する。表現の技能については、繰り返し指導を行い、基本をしっかり身に付けさせる。

	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
保健体育	◆生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う	◆新体力テストでは、投力、持久力の向上が課題である。 ◆学習評価の観点では、生徒が主体的に学習に取り組む態度について課題がある。	◆始業時に、ランニング、ラジオ体操、体幹トレーニング、サーキットトレーニングを継続的にを行い、バランスのとれた体力の向上を図る。 ◆男女共習、ティームティーチングにより、個に応じた指導を行う。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
技術・家庭	◆生活と技術についての基礎的な知識と技能の習得 ◆知識、技能を深めた上で、主体的な学習へ取り組む力を育成する	◆課題のある生徒の作業が遅れる傾向がある。 ◆定期考査については、応用問題に対しての解答の質がなかなか高くない。	◆課題のある生徒に対して個別対応を行い、技能習得の支援を行う。知識の習得に向け、前時の学習内容の復習を行うなど、繰り返して学べる工夫をする。 ◆知識、技能を深める課題設定と、主体的な学習ができるような環境の整備を行う。

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
外国語(英語・国際)	◆コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、知識を活用して表現し、伝え合うことができる力	◆全項目で全国の正答率を上回ったが、「話すこと」の領域の知識をやり取りの場面で活用できる技能に伸びしろがある。 ◆定期考査では、全学年で知識・理解よりも思考・判断・表現の正答率が低かった。	◆言語活動における使用場面設定、反復練習の回数を工夫し、十分な発話練習から自信につなげ、積極的な自己表現を促す。 ◆基礎となる知識を増やすために、毎時間行う帯活動を充実させる。また、定期的に単語テストや音読テストを行い、定着状況を見ながら授業を進める。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	◆身の回りの物事に対して課題意識をもち、自己を見つめることができる力 ◆他者と話し合い、認め合いながら考えを深め、自己のよりよい生き方を考える力	◆様々な視点から、多面的・多角的な考えることが課題である。 ◆自分の意見と違う考え方を認めより考えを深めることが課題である。	◆身の回りの物事に対して課題意識をもつ力を育むために、本時のねらいに生徒を自発的に導けるような発問や日常生活での課題を教材に生かす指導を行う。 ◆ペア学習やグループ学習で話し合い活動をする時間を設定する。多様な思考が生まれるような発問や教材の工夫を行う。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	◆多様な他者と協働する集団活動の意義や必要性を理解し、行動する力 ◆集団や自己、人間関係の課題を見出し、その解決に向けて話し合いや合意形成、意思決定ができる力 ◆人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度	◆様々な変化に積極的に向き合い他者と協働して課題を解決していくことが課題である。 ◆自己の在り方や生き方を考え設計する力に課題がある。	◆多様な集団への所属感や連帯感を高めるために、生徒の積極的な参加による体験的活動や地域等学校外の活動を活性化する。 ◆学級活動、学年・学校行事、生徒会活動を計画的に行い、特に話し合い活動の充実を図る。 ◆自己理解を深めるため、定期的な学校生活の振り返りと体系的なキャリア教育を実践する。その際、生徒の活動を記録し蓄積する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	◆問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度 ◆自己の生き方を考える力	◆身近な人々や社会、自然に興味・関心をもち、それらに意欲的に関わろうとする主体的・協働的な態度に課題がある。	◆環境学習について、PTAと連携し、学年の発達段階に応じた取り組みを実施する。8学年では中央防波堤埋立処分場の授業体験を実施する。 ◆出前授業、職場訪問や職場体験を地域人材や専門家、地域の事業所等の協力を得て行う。年間計画に基づき、キャリア教育に取り組む。